

2025年度 杏林大学〈前期〉市民聴講生講座 募集要項

■ 提供科目

※ 曜日・時限・授業内容・授業形態が変更の可能性もあります。
 ※ 祝日開講する講座もあります。 予めご了承下さい。

2025/2/5 改訂

No.	時期	講座名／講師名	講座内容	期間／曜日／時間
1	前期	英語学特論Ⅳ (応用言語学) 八木橋 宏勇 外国語学部 教授	本講義は、認知言語学・第二言語習得について、「担当者が主導するディスカッション形式の基礎演習」と「学生によるプレゼンテーションと発展演習」の二本立てで展開される予定である。「用法基盤モデル」の観点から日常の言語現象をより分析的に考えられるようにトレーニングを行い、ことばに関する様々な現象への興味関心および洞察力を深めていく。最終的には、発展的で意義のある疑問を抱き、考え抜いてその疑問を解決に導く、という主体的な思考経験を積み重ねることで「問題発見力」「問題解決力」を「学問を通して」身につける。	4/7 ~ 7/21(祝) ※祝日開講日を含む 毎週月曜日・5限 16:20~17:50
2	前期	英語学特論Ⅰ (統語論・文法論) 稲垣 大輔 外国語学部 教授	ことばは「心の鏡」と言われます。私たち人間は、ことばを使わずに、考えたり、コミュニケーションしたり、社会生活を送ることはできません。ことばは私たち人間を人間たらしめている種に固有の生物学的特徴です。では、その「ことばの知識」とはどのようなものなのでしょう？そして、その知識を幼児はどのようにして獲得するのでしょうか？ 本講義では、「生成文法理論」と呼ばれる、「ことばの知識」を、自然科学と同様に、データの収集、一般化、仮説の検証・反証、理論化という科学的方法を用いて解明するアプローチについて理解することを目的とします。生成文法理論が1950年代に誕生して以来、半世紀の月日が経過しましたが、この理論が一貫して掲げている目標・問題意識を確認した上で、英語という個別言語の具体的な分析を通して、英語の文法を記述し、理論化する方法を学びます。	4/8 ~ 7/22 毎週火曜日・4限 14:40~16:10
3	前期	韓国の文学・文化 鄭 英淑 外国語学部 教授	東アジアの中でも昔から交流があり、歴史的にも深い関係を持つ韓国(人)について知っていく。前半では、説話を紹介して昔からの韓国民族の思想・感情・情緒を吟味し、後半では現代韓国の文化を紹介し、韓国文化全般について理解する。これは発展的な日韓関係、東アジア共同体構築に向けての広い視野を持つにもつながると考える。 韓国文化、韓国社会、韓国人についての総合的な知識を得て、理解を深めること。また、授業の後半には課題発表を予定しているため、韓国の様々な文化について発信できることを目標とする。	4/11 ~ 7/18 毎週金曜日・4限 14:40~16:10
4	前期	中国の地誌 森 和 外国語学部 准教授	この科目は、中国の世界遺産を個別に取り上げ、その地域の自然的・人文的特徴を学び、歴史や文化との関係などについて考えます。 【到達目標】 中国の世界遺産についての知識を深め、各地域の特徴や歴史・文化との関係を理解することを目標とします。	4/10 ~ 7/17 毎週木曜日・4限 14:40~16:10
5	前期	行動経済学 糟谷 崇 総合政策学部 非常勤講師	行動経済学は、従来の経済学では説明できなかった社会現象や経済行動について、人の直感や感情などの心の動きを重視し、人間行動について説明しようとする学問です。本講義は、行動経済学の基礎を学び、人間行動や意思決定の問題を理解できるように学んでいきます。 この授業の目的は以下のとおりである。 ① 意思決定がどのような行動仮定に基づいて行われているかを考察する。 ② データ分析の手法の違いによる意思決定への影響を考察する。 ③ こうした考察を通じて、経済学、心理学、社会学、統計学における人間行動の違いを理解する。 この授業を通じて、経済合理性と人の直観や感情などを理解し、実際の経済現象における問題解決に対する応用的な視点が身に付くことが期待される。	4/10 ~ 7/17 毎週木曜日・2限 10:40~12:10
6	前期	財政論 知原 信良 総合政策学部 非常勤講師	財政について、入門レベルから始めて全体像をひととおり理解するための講義である。政府の役割、予算、租税、社会保障等の仕組みや諸課題について政治経済学的観点から学んでいく。 経済コースにおける応用科目であるが、現代社会で財政が果たす重要な役割に鑑み、基礎的な知識を固めたうえで、現在および将来の財政のあるべき姿を考え、自分の言葉でそれを発信することが出来るようになることを目指す。	4/10 ~ 7/17 毎週木曜日・3限 13:00~14:30
7	前期	租税法Ⅰ 若林 俊之 総合政策学部 非常勤講師	租税法について、その全体を俯瞰するとともに、各税法の主旨、法の成り立ち、その取扱いなどについて、主に所得税法及び消費税法を題材として考えを深めていく。 租税は、日本国憲法30条に納税の義務が掲げられ、さらに84条において、その執行を法律によるものとする租税法主義が定められている。日本の民主主義社会の根幹となるのが租税であるため、その理解を通じて、社会に求められる公平性を考察する。	4/11 ~ 7/18 毎週金曜日・1限 9:00~10:30

2025年度 杏林大学〈前期〉市民聴講生講座 募集要項

■ 提供科目

※ 曜日・時限・授業内容・授業形態が変更の可能性もあります。
 ※ 祝日開講する講座もあります。 予めご了承下さい。

2025/2/5 改訂

No.	時期	講座名／講師名	講座内容	期間／曜日／時間
8	前期	外交政策論A 島村 直幸 総合政策学部 准教授	講義では、国際関係と外交について、主要なテーマを一つずつ取り上げ、歴史と現実に対する理解を深める。 外交とは、近代以降の主権国家の間で展開されてきた対外政策の術であり、世界政府が存在しない「無政府状態(アナーキー)」の国際社会では、第一義的には「国家の生存」のために「秩序の安定」を目的としてきた。しかし、現代の外交では、経済や開発、人権、環境といった問題領域や争点の重要性が、たしかに相対的により高まってきた。なぜなら、二度の世界大戦を経験し、核兵器が出現した現代の国際社会では、少なくとも大国間での戦争が勃発する蓋然性が著しく低下し、過去と比較すれば、安全保障や軍事力の重要性が相対的により低下してきたからである。 また同時に、国際的に相互依存が深化したことにより、戦争はますます起こりにくくなりつつある。国際社会で民主化や制度化がさらに進展していけば、戦争がやはり起こりにくくなる(はずである)という指摘もある。さらに、国際連合(国連)などの国際機関、多国籍企業、NGOや市民社会など、主権国家以外の行為主体(アクター)の重要性も、現代の外交ではたしかに無視できない。 しかし、国際システムが基本的に主権国家からまず構成され、システム原理が「無政府状態」であるという現実が根本から変化したわけではない。たとえば、国連はあくまでも主権国家の集まりであり、主権国家よりもより上位の権威、すなわち世界政府ではない。また、ヨーロッパ統合は、たしかに主権国家を乗り越える歴史的な実験を積み重ねてきたが、深刻な財政危機に直面し、今まさに歴史的な岐路に立たされている。	4/10 ~ 7/17 毎週木曜日・1限 9:00~10:30
9	前期	アメリカ政治論 島村 直幸 総合政策学部 准教授	21世紀はじめの国際秩序は、中国の台頭やロシア・ウクライナ戦争の勃発を受け、アメリカ中心の単極構造が相対化されていくと予測されている。近代以降の主権国家システムの変容を予測する議論までである。アメリカ政治外交の現状をいかに分析し、将来をいかに展望できるのか。 講義では、まずアメリカ外交の伝統を取り上げ、次いで第二次世界大戦後の冷戦期のアメリカ外交史を考察する。イギリスの歴史家E.H.カーが指摘したように、複雑な現在の問題をより深く理解するためには、過去の歴史を学び、過去と現在とを”対話”させる必要がある。アメリカ外交の歴史を学ぶ場合も、例外ではない。 また大統領とアメリカ議会、二大政党制など、アメリカ政治の仕組みについて議論したい。アメリカ政治は、アメリカ合衆国憲法によって、「権力の分立」と「抑制と均衡」の原則が厳格に適応されている。民主主義国家のアメリカ外交は、内政の動きと切り離して議論することができない。なぜなら、大統領とアメリカ議会の間では、内政だけでなく、外交でも「抑制と均衡」が機能することが期待されているからである。	4/10 ~ 7/17 毎週木曜日・3限 13:00~14:30
10	前期	時事問題研究B<春> 島村 直幸 総合政策学部 准教授	国際政治経済の時事問題について、レジュメや新聞記事などを題材にして理解を深めていく。 2016年は、アメリカ大統領選挙や日本の参議院選挙など、国際的に選挙の年であった。2017年は、ドナルド・トランプがアメリカの新しい大統領となった。2018年にはトランプ外交が本格的に始動した。2018年から2020年にかけては、米中貿易戦争が勃発している。米中間で「新しい冷戦」まで指摘された。2020年は、アメリカ大統領選挙があり、2021年にジョセフ・バイデンが新しい大統領となった。 また、BRICSなど新興国の台頭を受け、地政学が復活した、という議論もある。「イスラーム国(IS)」の脅威の衰退後も、シリアの内戦やイラン問題など、中東情勢は混迷を深めている。アメリカ外交は、オバマ政権の下で、迷走を深めた。トランプ外交は、混迷を極めた。「インド太平洋戦略」と「中間層のための外交」を推進するバイデン政権の政策対応が注目される。 21世紀の国際秩序は、いかなる方向へ向かうのであろうか。	4/7 ~ 7/21(祝) ※祝日開講日を含む 毎週月曜日 4限 14:40~16:10
11	前期	中東・アフリカの政治・経済 知原 信良 総合政策学部 非常勤講師	中東・アフリカの政治・経済について学ぶ。 この地域は、地理的にも遠く宗教が絡むことから、敬遠しがちであるが、関心が高く需要視されている。 多様な資源やエネルギーの供給源として重要であり、歴史や文化に深いつながりがあることはあまり知られていない。歴史、宗教、文化にも関連付けながら、中東・アフリカ地域の経済的、国際関係上の課題について論じる。	4/10 ~ 7/17 毎週木曜日・2限 10:40~12:10
12	前期	環境保全論 斉藤 崇 総合政策学部 教授	現在の環境問題は、非常に複雑化・多様化している。そうしたさまざまな問題について、どのような特徴があるか、どのような取り組みが必要かを整理して理解することは、解決策を考えていくうえで非常に重要である。とくに「社会の仕組み」の観点から、環境問題の原因や解決策について考えていくことが求められている。 この授業は、大きく2つの内容で構成されている。まず総論として、現在の環境問題の特徴を整理するとともに、環境に関する国際的な取り組みの全体像について取り上げる。その後、各論として具体的な環境問題について、現状や対策等について考えていく。ここでは大気環境の保全、水や土壌の保全、廃棄物などの都市型環境問題について取り上げる。	4/10 ~ 7/17 毎週木曜日・1限 9:00~10:10
13	前期	福祉心理学 石川 智 保健学部 講師	福祉領域は、保健・医療、教育に続き心理職が働く領域となっている。本講義では福祉現場における心理社会的課題および心理的支援について学んでいく。各現場の支援対象である人々の持つニーズと社会的背景について基本的なところから考える。また、福祉領域では対象者への支援が生活全般に及ぶ場合もあることは特徴的であり、その支援の基盤となる我が国の社会福祉制度の概要についても学習する。	4/10 ~ 7/17 毎週木曜日・5限 16:20~17:50

【申込受付期間】 前期期間 2025年3月 1日(土)～3月18日(火)
後期期間 2025年7月15日(火)～8月16日(土)

【対 象】 原則、18歳以上の方で、大学レベルの講義に関して学習意欲のある方。

【募 集 人 員】 各講座 5名まで（申込多数の場合は、締切前に申込をお断りすることもあります）

【受 講 料】 1科目 11,000円

- ※ 三鷹市在住の18歳以上の市民(学生を除く)の場合、年間1科目を限度に1,500円を助成します。
 助成を希望される方は証明書類(運転免許証・健康保険証等)を三鷹ネットワーク大学 申込窓口にて提示ください。
 ※ 教材費がある場合は、実費負担となります。

【申込・支払方法】 三鷹ネットワーク大学の窓口で現金にて支払(受講申込書あり)

■ 注意事項等

- ◇ 講義は正規学生と共に受けていただきます。(授業運営や内容は正規学生に向けた構成です)
- ◇ 学内のルールを守られない方や正規学生及び他の受講生、教職員への迷惑行為をされた方は期間中でも受講をお断りします。(受講料の返還はありません)
- ◇ 欠席された場合、原則として講義のレジュメ等の取り置きはいたしませんのでご了承下さい。
- ◇ 一旦申込まれた講座の変更は原則としてできません。(受講料の返還はありません)
- ◇ 公共交通機関をご利用下さい。聴講生向けの駐車場・駐輪場はありません。
- ◇ 講義は原則として対面形式で行われますが、変更となる可能性もあります。
- ◇ 休講情報等、大学からの連絡は原則e-mailで行いますので

PC・タブレット・スマートフォンいずれかの機器をご用意いただき、e-mailの送受信ができるよう予めご準備下さい。

※ 機器をお持ちでない方は別途ご案内させていただきます。詳細はお問合せ下さい。

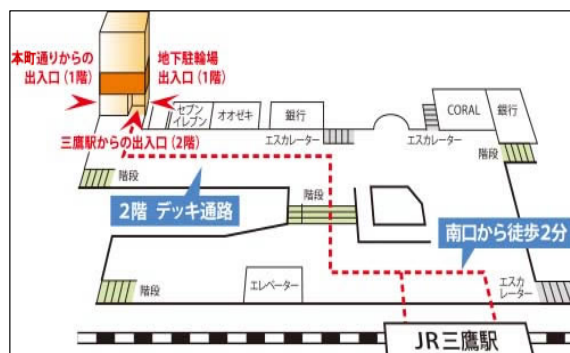
市民聴講生講座に関する問い合わせ先

杏林大学（井の頭キャンパス） 地域交流課
 〒181-8612
 東京都三鷹市下連雀5-4-1
 TEL：0422-47-8000（代表）
 窓口取扱時間
 平日：9：00～17：00
 土曜：9：00～12：00



申込・支払

特定非営利活動法人
 三鷹ネットワーク大学推進機構
 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-24-3
 三鷹駅前協同ビル3階
 TEL：0422-40-0313
 開館時間
 火曜日～土曜日：9：30～21：30
 （入館は21：00まで）
 日曜日：9：30～17：00



杏林大学 2025(令和7)年度 前期 開講日程

曜日 回	月	火	水	木	金	土
第1回	4月7日	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月5日
第2回	4月14日	4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月12日
第3回	4月21日	4月22日	4月23日	4月24日	4月25日	4月19日
第4回	4月28日	4月29日 ※祝日開講	4月30日	5月1日	5月2日	4月26日
第5回	5月12日	5月13日	5月7日	5月8日	5月9日	5月10日
第6回	5月19日	5月20日	5月14日	5月15日	5月16日	5月17日
第7回	5月26日	5月27日	5月21日	5月22日	5月23日	5月24日
第8回	6月2日	6月3日	5月28日	5月29日	5月30日	5月31日
第9回	6月9日	6月10日	6月4日	6月5日	6月6日	6月7日
第10回	6月16日	6月17日	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日
第11回	6月23日	6月24日	6月18日	6月19日	6月20日	6月21日
第12回	6月30日	7月1日	6月25日	6月26日	6月27日	6月28日
第13回	7月7日	7月8日	7月2日	7月3日	7月4日	7月5日
第14回	7月14日	7月15日	7月9日	7月10日	7月11日	7月12日
第15回	7月21日 ※祝日開講	7月22日	7月16日	7月17日	7月18日	7月19日
補講日	7月23日(水) 7月24日(木)					
定期試験 期間	7月25日(金)～8月1日(金) ※科目により定期試験を実施します。聴講生は受験は任意となり、成績評価はつきません。					